

【科目名】疼痛学		【担当教員】高橋洋
【授業区分】 専門分野（理学療法評価学）	【授業コード】 3-16-0595-0-2	(メールアドレス) hirosht@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー) 月火木金：8：00～17：30
【開講時期】3年次後期	【選択必修】選択	
【単位数】1	【コマ数】8	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 実技を行う時は、実技の行いやすい服装で挑むこと (受講のルールに関わる情報・予備知識)		
【講義概要】 (目的) 痛みの生理、自律神経と痛み、痛みの心理・環境・行動的側面、プラシーボ効果、痛みの評価、痛みの治療における基本理念、徒手療法、痛みのマネジメントにおける物理療法、慢性痛に関する理学療法効果、筋膜に対する徒手療法について講義する。 (方法) 資料を配布する。		
【一般教育目標(GIO)】 痛みの生理、仕組みを知ることにより、臨床で遭遇する痛みについて、深く理解する。 痛みに対する理学療法のアプローチを理解する。 【行動目標(SBO)】 臨床で遭遇する痛みに対する正しい理解と解釈ができる。痛みに対する理学療法を一部おこなえる。		
【教科書・リザーブドブック】		
【参考書】		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 本学学則規程の GPA 制度に従う。 期末試験、レポートにより総合的に評価する。		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成 果 発表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		70	0	20	0	10	0	0	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	○							
	思考・推論・創造の力			○					
	コラボレーションとリーダーシッ プ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢			○					
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の 運営方法		学修課題(予習・復習)			時間(分)		
1	オリエンテーション 痛みについて理解する	講義		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点 を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。			30 分		
2	自律神経と痛み 痛みの心理・環境・行動的側 面	講義		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点 を明確にしておくこと。 (復習) 実習後のレポート作成。			30 分		
3	プラシーボ効果 痛みの評価	講義		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点 を明確にしておくこと (復習) 講義内容を理解、暗記すること。			30 分		
4	痛みの治療における基本理念 徒手療法	講義		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点 を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。			30 分		
5	痛みのマネジメントにおける 物理療法 慢性痛に関する理学療法効果	講義		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点 を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。			30 分		
6	筋筋膜に対する徒手療法	講義、実技		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点 を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。			30 分		
7	筋筋膜に対する徒手療法	講義、実技		(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点 を明確にしておくこと。 (復習) 実技の練習をすること			60 分		
8	実技	実技		(予習) 実技の練習をすること (復習) レポート作成			60 分		

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。